

2011 <A01 班>

【受賞】リスト

研究代表者：垣花 真人

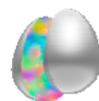
1. 長谷川貴彦（垣花真人研究室），優秀ポスター賞，“水溶性ケイ素化合物を用いた単分散シリカナノ粒子の合成”，日本化学会東北支部，2011年9月17日。
2. Satoko Tezuka, Hideki Kato, Yuji Takatuka, Masato Kakihana, Merck Award, “Synthesis of the high luminescence yellow  $(\text{Sr}, \text{Ba})_2\text{SiO}_4:\text{Eu}^{2+}$  phosphor using a novel water soluble silicon compound”, President of The Korean Information Display Society, 2011年10月14日。
3. Jihae Kim, Hideki Kato, Masato Kakihana, Outstanding Poster Paper Award, “Control of  $\text{NaAlSiO}_4:\text{Eu}^{2+}$  Photoluminescence Properties by Charge-compensated Element Substitution”, President of The Korean Information Display Society, 2011年10月14日。
4. Chihiro Yasushita, Hideki Kato, Masato Kakihana, Outstanding Poster Paper Award, “Synthesis of an oxynitride-based green phosphor  $\text{Ba}_3\text{Si}_6\text{O}_{12}\text{N}_2:\text{Eu}^{2+}$  via an aqueous solution process using a novel water-soluble Si compound”, President of The Korean Information Display Society, 2011年10月14日。
5. 長谷川貴彦（垣花真人研究室），優秀ポスター賞，“新規チオアルミネート蛍光体 $(\text{Ba}_{1-x}\text{Sr}_x)_4\text{Al}_2\text{S}_7:\text{Eu}$  の結晶構造と発光特性”，東北大学研究所連携プロジェクト『ヒューマンサイエンス&テクノロジー』，2012年3月5日。

研究代表者：加藤 隆史

1. 梶山智司（加藤隆史研究室），優秀ポスター発表賞，第1回CSJ化学フェスタ，“有機高分子の効果による炭酸カルシウムおよび炭酸ストロンチウム薄膜の形成と配向誘起液晶性高分子をテンプレートに用いた配向性薄膜状有機／無機複合体の構築”，日本化学会，2011年12月21日。
2. 清水友宏（加藤隆史研究室），優秀ポスター発表賞，第1回CSJ化学フェスタ，“オキシエチレン鎖を有する $\pi$ 共役分子の自己組織化とエレクトロクロミズム”，日本化学会，2011年12月21日。

研究代表者：鳴瀧 彩絵

1. 萱原彩絵，平成22年度高分子研究奨励賞，“温和な水溶液プロセスによる高分子／無機ナノハイブリッド材料の創製”，高分子学会，2011年5月26日。



**研究代表者：吉澤 篤**

1. 吉澤篤, 第1回弘前大学学術特別賞(遠藤賞), “アモルファスブルー相発現の分子設計および無秩序—秩序相転移に基づく表示機能の創成”, 弘前大学, 2011年11月11日.
2. 鷺坂将伸, 吉澤篤, 大竹勝人, 日本油化学会第10回オレオサイエンス賞, “超臨界二酸化炭素中での界面活性剤の自己組織化挙動”, 2011年6月2日.

**研究代表者：山中 正道**

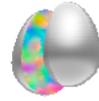
1. 仁藤有紀 (山中正道研究室), ポスター賞, 第22回基礎有機化学討論会, “ゲスト分子包接によるハイブリット型超分子カプセルの構造変化”, 基礎有機化学会, 2011年9月23日.

**研究代表者：森崎 泰弘**

1. 冨永理人 (中條善樹研究室), ポスター賞, 第22回基礎有機化学討論会, “ジチエノベンゾカルボラン骨格を有する新規共役系の構築”, 基礎有機化学会, 2011年9月21日.
2. 森崎泰弘, 学術奨励賞, “光学活性ジホスファクラウン実用的合成法の確立と応用”, 宇部興産学術振興財団, 2011年6月3日.

**研究代表者：重永 章**

1. 辻耕平 (大高章・重永章研究室), 日本薬学会中国四国支部学生奨励賞, 日本薬学会中国四国支部, 2012年3月23日.
2. 坂本健 (大高章・重永章研究室), 日本薬学会中国四国支部学生奨励賞, 日本薬学会中国四国支部, 2012年3月23日.
3. 重永章, 日本薬学会中国四国支部奨励賞, “刺激応答型アミノ酸の開発とケミカルバイオロジー分野への展開”, 日本薬学会中国四国支部, 2011年11月12日.
4. 丁昊 (大高章・重永章研究室), ポスター賞, “Double-kinetically controlled proline ligation”, 第48回ペプチド討論会, 2011年9月27日.
5. 山本純 (大高章・重永章研究室), 2011 Tokushima Bioscience Retreat 若手研究者奨励賞, “標的タンパク質の選択的ラベル化を指向した釣竿分子の開発”, 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部, 2011年9月17日.



2012年6月20日

研究代表者：松浦 和則

1. 沖崎剛士(君塚研究室 松浦和則グループ), 高分子学会九州支部若手奨励賞, ”ウイルス由来 Annulus ペプチドナノカプセルの架橋”, 高分子学会九州支部, 2012年12月9日.
2. 松浦和則, 第8回 日本学術振興会賞, “DNA やペプチドの自己集合特性を活用したナノ構造体の構築”, 日本学術振興会, 2012年2月27日.